

献血のお知らせ

楽しく
社会貢献！

9/17(火)

受付時間 9:30-11:45/13:00-16:00

つくばシティロータリークラブ協力
一誠商事株式会社 つくば本社
駐車場



確認事項

献血前に、ご自分でチェックを！

以下の項目に該当する方が献血をすると、輸血を受けた患者さんに、深刻な状況をもたらす場合があります。そして献血いただくあなた自身も、健康を害する場合があります。献血の際は、必ず慎重に自己確認を！

1つでも該当する方は、今回の献血をご遠慮ください。

- 体調が優れない
 - 3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯・歯石除去等）を受けた
 - 4週間以内に海外から帰国（入国）した
 - 1か月以内にピアスの穴を開けた、またはいれずみ（刺青）をした
 - 24時間以内にインフルエンザなどの予防接種を受けた
 - 過去に輸血や臓器移植を受けた
- 以下に該当する方は、職員・検診医にご相談ください。
- 3日以内に薬を服用・使用した ※薬剤名が必要です
 - 海外滞在歴がある

※上記に該当しない方でも、検診医の判断で献血をお断りすることがあります。

お願い

400mL 献血にご協力ください

人間一人ひとりの血液は、血液型が同じでも微妙に違っているため、複数の献血者の血液を合わせて一人の患者さんに輸血するほど、副作用（発熱・発疹など）発生の可能性が高くなります。400mL献血は200mL献血より少ない献血者からの輸血を可能にするため、患者さんへの負担を軽減することができます。日本赤十字社では、採血基準を満たした方には、400mL献血のご協力をお願いしています。

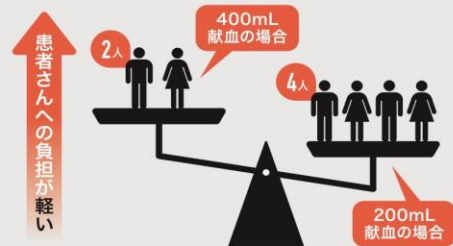
400mL献血の主な基準

年齢	男性	17~69歳*
	女性	18~69歳*
体重	男性	50kg以上
	女性	
年間献血回数	男性	3回以内
	女性	2回以内

※65歳以上の方の献血については、献血いただく方の健康を考慮し、60~64歳の間に献血経験がある方に限ります。

例 800mLの輸血に必要な献血者数

400mL献血は患者さんの副作用発生の可能性が低く、安全性が向上します。



当日は400mL献血のみの受付とさせていただきます。



献血いただける方へ



献血後の一時的な貧血症状等を防ぐため、献血当日は直前の睡眠4時間以上および朝食または昼食をとってお越しねがいます。

服薬していても協力できる場合があります！

★ 服用していても献血可能なお薬 ★

当日服用していても献血可の薬（一例）

ビタミン剤、ミネラル剤、漢方薬、非ステロイド系抗アレルギー薬、抗ヒスタミン薬（セレスタミンを除く）高脂血症治療薬、高尿酸血症治療薬、胃腸薬、降圧薬など

※ 花粉症の薬は、セレスタミン以外のアレグラ、アレロック、ジルテックなどは献血可能です

当日服用していなければ献血可の薬（一例）

内服筋弛緩薬、睡眠薬・抗不安薬・マイナートランキライザー、利胆薬 など

※ 当日症状がないことが条件ですが、市販の風邪薬（パブロン等）や頭痛薬（ロキソニン等）は前日までの服用なら献血可能です

72時間服用していなければ献血可の薬（一例）

抗菌薬（抗生物質、合成抗菌薬）・抗真菌薬・抗結核薬、抗ウイルス薬など

※ 受付前に薬名のご確認をお願いします。医師の総合的な判断でご遠慮させていただく場合があります。



若い方の献血者が減少しています！

10～30代の献血者推移

2007年 約283万人 → 2016年 約195万人

10年間で

31%も減少

動画でわかる献血



人気お笑い芸人「鉄拳」によるパラパラ漫画の動画「鉄拳 献血啓発パラパラ漫画『けんけつ』」です。



茨城県公認Vtuber「茨ひより」が献血大使に就任！？茨ひよりによる献血動画をチェック！



必要不可欠な献血



献血ってどうして必要なの？



病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があります（「輸血」といいます）。

その輸血に欠かせないのが「献血」です。

献血とは、輸血を受ける患者さんのために、自分の血液を無償で提供することです。

献血が必要なわけ

人工的に造れない！

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、血液はいまだに人工的に造ることができません。

だから、「献血」でたくさんの人から血液を集めるしかありません。

長期保存ができない！

血液は生きた細胞の集まりなので、長い間保存ができません。

いつも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

1日約3千人！

何の数字だと思いますか？

実は、輸血を受けている患者さんの数なんです。

毎日、こんなに多くの患者さんが、血液を必要としています。

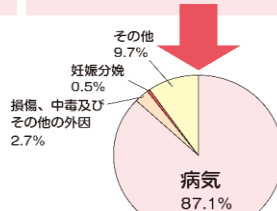
最多はがん治療！

輸血はどのような時に使われるのでしょうか？多くはがん治療で、約40%を占めます。

このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

「輸血」というと、大げした時に使われるイメージがあるけれど・・・

けが治療はわずか2.7%で、ほとんどは病気の治療に使われているっす！



(平成23年 東京都福祉医療局調べ)



血液のゆくえ ～患者さんに届くまで～

